令和６年度・西伊豆町子育て支援センター“たんぽぽ通信”１２月号

例年以上の猛暑や残暑、米不足など、子育て世代にも影響が直結する話題がたくさんあった令和６年も、いよいよ残り１ヶ月となりました。

ようやくやって来た冬。つんとした空気に、ひんやりとした風。そろそろ西伊豆特有の西風も吹いて来るころかもしれません。栄養バランスのよい食事や十分な睡眠を心がけ、元気に寒い冬を乗り切りましょう。

LINE 公式アカウント
西伊豆町子育て支援センター
「たんぽぽ」

仁科認定こども園・☎０５５８－５２－０５８３（呼）
０５５８－５２－１１１０（呼）
伊豆海認定こども園・☎０５５８－５３－０７５５（呼）
安良里出張ひろば・☎０５５８－５６－０２１１（教育委員会・呼）

１１/２０（水）あかちゃんクラブ

仁科センターにて、体重測定や栄養相談、寝相アートなどを楽しみました。

次回はクリスマス会と合同で１２/１８（水）10 時から KAMO’ｎ house にて行います。あかちゃんから参加できますのでたくさんの親子の参加をお待ちしています。

１２月のお知らせ（仁科・田子共通）

２日（月）仁科　避難訓練予定

１８日（水）クリスマス会＆あかちゃんクラブ
１０：００～KAMO’ｎ house

申込みは
11 日（水）
までです。

※午前中は「クリスマス会」、午後はセンター会議のため、支援センターは１日閉所となります。

１９日（木）田子　避難訓練予定

※１２/２９（日）～１/５（日）まで年末年始のため閉所します。

１２月の土曜日開放日
◎１４日・２８日　8:30～11:30
仁科支援センターにて

☆西伊豆町内に気象に関する各警報（波浪警報は除く）が発令された場合、センターは１日閉所となります。途中で解除されてもセンターはお休みとなります。

子育てアドバイス⑨

巡回相談員　飯泉　松文

２歳の子育て～しつけの土台～

幼児期（２歳）に入り、大人の行動をまねできるようになると約束やルールにのっとった行動の修得へと導く大人からの働き掛けが始まる段階です。愛着的に結ばれた親から「こうしようね」と言われると幼児は理屈抜きで取り組みます。親自身のお手洗いを使う等、自分から積極的にまねをしようとします。

しつけには根気と手間暇がかかり、すぐに思い通りにできるとは限らず、子どもにも「我」が出てきます。そこを乗り越えていくには養育者の心のゆとりがとっても大事です。トイレットトレーニング、食事等の日常生活面の全てに関わり、時には目が回るほどのことも出てくると思います。しつけは乳児期に育まれた親子の親和的な繋がりが土台となって進みます。その土台が十分にできていないと幼児期に入って失調があらわれてくるケースが多く見られます。

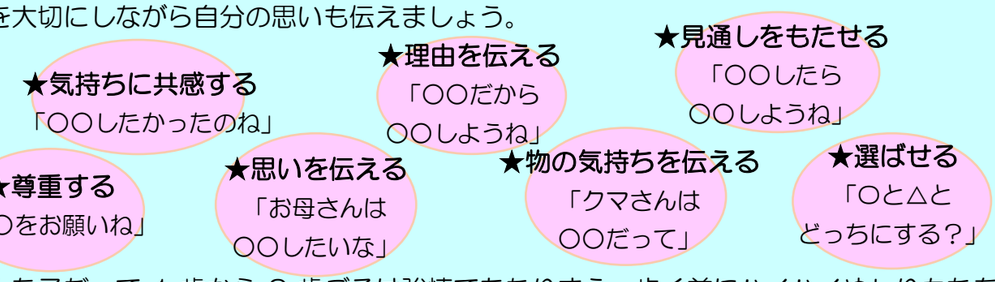
幼児はしつけを通して、自分の周りには約束や決まりがあり、大切なものという感覚を身につけ始めます。それらにあわせて自分の衝動や欲求を自分でコントロールする力、つまり「意志」の力（自分から立ち向かう力）の土台をつくることがしつけの大きな役割になります。しかし、強制的なしつけは外からのコントロールのため、子どもの自分から立ち向かう力を奪い意志の力の発達の妨げとなります。しつけと称した「虐待」がこの良き例です。

〇次回１月号「２歳児の子育て～意志力が育っていないと～」

いよいよ来たぞ　　強情　＆　イヤイヤ期

１歳を過ぎると始まる「イヤ！」「イヤ！」の連発。その上、２歳ごろからは自分の思い通りにいかないと泣きわめき、「もう！いいかげんにして！」って言いたいお母さんも多いはず…これってどうしたらいいの？

→1 歳半から３歳ごろの子どもは「〇〇しなさい！」という命令口調が大の苦手です。子どもの思いを大切にしながら自分の思いも伝えましょう。



どんな子だって 1 歳から 3 歳ごろは強情であたりまえ。歩く前にハイハイやしりもちをするように、「強情」や「イヤイヤ」は子どもが自分をつくるためにどうしても通らなくてはならない道なのです。やがて言葉での表現力、見通しをもつ力、状況の理解力などが育ってくると、強情は自然に消滅していきます。「ふー」っと一息ついてこの時期を乗り越えましょう。子どもとの日々の闘いによって、親も「言い聞かせができる親」へのレベルアップを目指しましょう。